

令和3年度 大田区立久原小学校 自己評価 報告書

令和4年3月25日

○ 本校の概要

○児童数843名を数え、第1・2学年各5学級、第3～6学年各4学級、全26学級の規模の大きい学校である。本校は、「丁寧な挨拶の励行」に重点をおき、定着を進めている。7月に実施した「学習・生活をふりかえって(児童の自己評価)」では、「自分から進んで挨拶をしていますか」の問いに、90%の児童が「あてはまる」と答えており、日常生活の中でもよい変化が見られている。引き続き、「相手に届く挨拶」ははっきりした返事が定着するように指導を進めていく。○コミュニティ・スクールモデル事業実施校として大田区の指定を受け、学校運営協議会と地域学校協働本部(スクールサポートがはら)の協力をいただきながら地域と協働した教育活動を進めている。○「豊かなスポーツライフを楽しめる子～主体的・対話的で深い学びの実現(体育・健康教育を通して)～」をテーマに、体育科を中心に校内研究を進めている。研究授業はもとより、体育実技研修会や保健講話を設定し授業力等の向上を図るとともに、家庭と協働した体力づくりの取組も進めている。社会科では「都道府県検定」を実施し、基礎基本の確実な定着を進めている。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, 学校関係者記入欄 (評価, 人数, コメント). Rows include categories like '未来社会を創造的に生きる子供の育成', '児童・生徒一人ひとりの学が意欲を高め、確かな学力を定着させます', '子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるなど、未来への希望に満ちた豊かな心を育みます', 'スポーツに親しむ心や運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします', '児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境づくり', '学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります'.

○成果評価は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。